

第1期 2018年4月11日～2018年6月30日

I. 事業報告の概要

今期は設立後初年度ではあったものの、郡山市「平成30年度スモールスタート支援プラットフォーム形成事業」の受託、福島県「平成30年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」採択により活発に事業を進めることができた。自主事業としての「エールマーケット基金(仮称)」も企画を進めることができ、コミュニティ財団として機能強化に務めることができた。

II. 詳細報告

(1) プログラム開発の推進

郡山市政策開発課が実施する「平成30年度スモールスタート支援プラットフォーム形成事業」を受託した(事業期間2018年5月～2019年3月)。本事業は郡山市内でコワーキングスペースを運営する複数の団体(特定非営利活動法人アイカラー福島、一般社団法人グロウイングクラウド、特定非営利活動法人コースター)との協働で実施しており、当財団はプラットフォーム運営にかかる事務局業務、こおりやま広域圏15市町村を対象としたスモールスタートプロジェクト公募及び各種イベントの企画・広報・運営、プロジェクト公募事務を担当している。また、本事業と連動する形でプロジェクト採択者への資金支援を実施するための基金醸成を図る。

2018年6月現在、プロジェクト公募のための専用ウェブサイトやフライヤー制作、公募説明会企画を推進している。

(2) 「エールマーケット基金(仮称)」事業

全体として事業は後倒しとなっているが、Yahoo!JAPAN 担当者と協議を進め、2018年秋のプロジェクト公募開始を目指して計画の策定を進めている。

(3) 各種社会的資金循環の推進に向けた施策の検討

福島県「平成30年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助事業に採択された。本補助金の活用により、2018年秋に遺贈寄付等の新しい社会的資金について知るNPO等地域活動団体向けの研修プログラムを開発することとし、今年度は情報収集や先進事例の調査を進めた。具体的には一般社団法人全国コミュニティ財団総会(6月14日)に出席し全国で行なわれている先進事例を学んだほか、公益財団法人みんなでつくる財団おかやま(6月12日)、公益財団法人京都地域創造基金(6月13日)を訪問し、各コミュニティ財団が地域で実施する各種社会的資金循環の状況について調査を行なった。

また、地域内外での各種社会的資金循環の啓蒙・当財団の認知度向上を目的に、ソーシャルビジネスセミナー（福島ソーシャルビジネス支援ネットワーク主催、6月2日）、展覧会「永久の浜道 常磐相双」（山中努氏主催、6月3日）に登壇し、講演等を行なった。

(4) 当財団の社会的認知や共感醸成を目的としたイベントの開催

上述の「平成30年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」補助金の活用により、2018年12月にシンポジウムを開催するよう企画・調整を推進している。

(5) 組織基盤整備

6月22日-23日に役員・事務局合同合宿を開催し、当財団の今後の方向性やビジョン・ミッションの検討材料となる事項について検討を行なった。また、執行役員会を随時開催しこれらの継続的な検討を実施している。執行役員会の開催は以下の通り。

- ・5月11日（オンライン）
- ・5月22日（集合）
- ・6月8日（集合）
- ・6月22日（集合）

また、経理・人事・給与等の組織運営に関する各種規程整備を目指し、調査を実施している。規程が整備されるまでの間、一般社団法人ふくしま連携復興センターで実施していた手続きを準用し、日常の法人運営には支障の無いよう手続き様式等の整理を実施した。経理や給与計算等に使用するソフトウェアの導入も完了した。

- ・会計ソフト：PCA 公益法人会計
- ・給与計算ソフト：Q太郎
- ・寄付者管理ソフト：salesforce、GOEN

事務局としては、プログラムオフィサー人材育成を目的に、ファンドレイジング日本2018報告会（日本ファンドレイジング協会東北チャプター主催、4月13日）、salesforce研修（全国コミュニティ財団協会主催、6月13日）を受講した。

以上